

公民館だより

平成 24 年 (2012 年) 11 月 20 日

No. - 136

編集 公民館だより編集委員会
発行 日野市中央公民館
〒191-0011
日野市日野本町7-5-23
電話 042(581)7580
FAX 042(581)2110
E-mail pubhall@city.hino.lg.jp

点字「公民館だより」は、ぐるーぷ「あいの会」の協力でできています。市立つばさ・東京光の家・中央図書館・高幡図書館・中央公民館および同高幡台分室にあります。お知り合いで目の不自由な方に、お勧めください。

サ・ワ・レの仲間たち

「読者のみなさんは、字を書くことに自信があるのかな？」などと考えながら取材に向かいました。

場所は、中央公民館高幡台分室の一室。会員の方は机の上を片付け始めていて柴田雪香先生はまだ添削をされていました。

平成 17 年 2 月に高幡台分室で開催された「実用書道講座」に受講された方の中の 4~5 名が中心になって始められた会で、現在の会員は、11 名。会員の腕前は、師範 2 名・二段 1 名・一級 1 名・六級 1 名・八級 1 名で他の方は、それぞれ趣味でやっておられます。

新しい会員には、まず自分の名前や住所を書くことから始め、芳名帳やのし袋に自信を持って書けるように指導しているとのこと。会は千字文(魏の鐘繇が著したと伝えられている)を基本に練習をしておられます。

指導方法は、先生が各自の実力に合わせて、千字文や空海等の書から手本を書き、それを各自の家や会場で練習して先生に添削して頂いているそうです。

入会するまでは小中学校の書道以来、筆を持ったことの無い方も興味を持たれ、がんばっている方もいらっしゃいました。

毎日書道展や日野市民文化祭及び公民館の分室まつりに出展することを目標としている皆さん。

先生がとてもほめ上手でやる気にさせてくれると会員の皆さんが言っている言葉が印象に残りました。(O)

▽活動日=毎週第 2・4 火曜日
午前 9 時から 11 時半まで

さくら書道会



▲ほめ上手の先生による指導

▽活動場所=中央公民館高幡台分室

▽会費=月額 2,000 円

▽連絡先=真砂 至朗

(Tel 593-4766)



絵：叶内 匡子

中央公民館大掃除にご参加ください

恒例の、中央公民館の大掃除を次の日程で行います。すすんでご参加願います。(公民館利用者交流会)

日程 平成 24 年 12 月 15 日 (土)

時間 午前 9 時スタート~きれいになるまで

市内にはオブジェがある公園がいくつかあり、金田公園もそのひとつです。虫とり中の少年と少女が虫かごをのぞきこんでいるブロンズ像が、公園の南東角、1.3mほどの完成記念碑の立派な台座上に立っています。

金田公園は、日野市最東端北部地域、すなわち、北の浅川、西の多摩モノレール、南の京王線そして東の府中四谷橋（都道 20 号）に囲まれた東西 2 km、南北 600m ほどの長方形の、ちょうど真ん中あたりにあります。この長方形の南西角から北東角に向けて一級河川の程久保川がゆるやかに蛇行していますが、公園はその右岸百草橋際にあります。面積 1,637 m²、すべり台、タイヤのブランコ、砂場、ベンチ 3 脚などを

備えた静かな公園です。

このあたりは古くから金田耕地とも大宮耕地とも呼ばれ、豊かな水田が広がっていました。現在も一部に残る田や畑の畔には、秋になると彼岸花が咲くなど、かつての日野の原風景を見ることができます。

高度経済成長期以降、市内全域が都心部からの通勤圏内となり、大小さまざまな宅地開発が行われるようになりました。このため将来性ある土地利用を目指し、3 年余の歳月をかけて区画整理が進められ、昭和 59 年 3 月に竣功しました。子どもの像は、その竣功を記念して設置されたものです。子どもが持つ棒の先には捕虫網があったのですが、紛失したようです。記念碑の下には、この区画整理関係書類や写真等を収めたタイムカプセルが埋めてあるそうです。

冒頭の長方形の中には、日野市が管理する公園が大小あわせて 16 ほどあります。

このなかには金田公園同

様に区画整理事業によってできた公園も少なくありません。落川公園、河内公園、上落川公園にも、それぞれユニークなオブジェがあります。いずれも区画整理事業によってできた公園であるという共通項があり、その沿革等を記した記念碑もあります。それぞれの地域の発展の一端をうかがい知るためにも、折があったら、散歩がてらにたずねてみてはいかがでしょうか。（T）

〔高幡不動駅からミニバス落川路線「金田公園」バス停下車すぐ〕



公民館だよりが変わりました

長年、市民編集委員により編集・発行されている「公民館だより ひの」は、平成 24 年度から自主制作に変わり、また、新聞折り込みをとりやめました。

平成 24 年度にはいり、5 月に「公民館まつり」、8 月に「ひのアートフェスティバル」の紹介をするための特集号を職員がつくってきましたが、今号以降は、従来どおり編集委員の皆さんの協力を得て作成してまいります。

自治会での回覧をしていただくほか、配布に協力していただくお店や市内郵便局・公共施設におきますので、お立ち寄りの際にはどうぞお持ち帰りください。

（中央公民館）

ご存じですか



「推進会議」

基本構想・計画を実現するために2部門で議論

公民館に、「推進会議」という会議があるのはご存じでしょうか。この会議は、2つの部門に分かれ、定例的に会合を開催しています。公民館だより今号では、「推進会議」の概要を紹介します。

日野市に公民館ができて 46 年。今では年間 7 万人以上の市民が利用している社会教育施設に発展しました。そこで日野市の公民館では、平成 22 年（2010 年）に「日野市公民館基本構想・基本計画」を策定しました（公民館のホームページでもご覧になれます）。この中には、4つの基本理念・原則と公民館運営の中でそれを具体化するための 10 の構想が盛り込まれています。ただ構想や計画を示すだけでは “絵に描いたモチ” でしかありません。

そこで基本構想や基本計画を具体的に実現していくための組織「日野市公民館基本構想・基本計画推進会議」（推進会議）を立ち上げました。推進会議は、ハード部門を担当する「管理運営部門委員会」とソフト部門を担当する「事業部門委員会」に分かれて、市民から募ったそれぞれ 10 人ぐらゐの委員で、毎月定例会を持っています。

現在、管理運営部門では、老朽化しつつある現在の公民館の建

て替え問題や、公民館の地域的偏在の解消をどのようにはかっていくか、等の問題が主として話し合われています。また事業部門委員会では、市の他の部局と連携した公民館事業の展開をどう進めるか、といった問題や、ホームペ

ージを利用した公民館活動の情報発信の強化をどう進めるか、などについて話し合っています。

市民の皆様の貴重なご意見を、公民館までお寄せいただければ幸甚です。

（推進会議 森 紘道）

23 年度「公民館評価」がまとまりました

～公運審のご意見をいただいて～

平成 23 年度「公民館の運営状況に関する評価」がまとまりました。この評価は、公民館の基本構想・基本計画の基本施策 10 施策に基づいて実施した平成 23 年度事業の結果資料を公民館自らが点検し、公民館運営審議会(*)（公運審）に評価・ご意見をいただいたものです。公民館では、この評価結果を真摯に受け止め、公民館事業の水準の向上と。公民館の目的達成のため改善に努めてまいりますので、公民館事業への市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。「日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書」（平成 23 年度事業）は、公民館ホームページ、日野市中央公民館・同高幡台分室、市政図書室および市内各図書館で全文をご覧いただけます。

(*) 公民館運営審議会は、社会教育法で設置が定められている公民館長の諮問機関で、学識経験者、公民館利用者の代表など 10 名から成ります。詳しくは、公民館だより次号以降で紹介いたします。

（中央公民館）

ところで公民館ってどんなところ？

市民の皆さんの学びを支援し、その学びを通して人育ち、まち育ち、社会育ちを進めるためにいろいろな学びの機会を提供している公民館。今年度実施したさまざまな講座・イベントから、その様子の一部をご覧ください。これからの事業への参加をお待ちしています。詳しくは広報などで。



ケーキ作りを学ぶ真剣な表情
(パティシエに挑戦)



壊れたおもちゃを直すテクニックを学びます (おもちゃドクター養成講座)



さまざまなジャンルの音楽などに
触られます (バラエティサロン)

いろいろなジャンルの
話が聞けます (市民大学)



夏のひととき、子どもの歓声が聞こえます
(夏休み！小学生わくわく学習術)



あとがき◆お読みいただいたとおり、公民館だよりは、今号から横組みとなりました。「読みやすい」「なじめない」…などご意見をお寄せください◆記事は「サークル紹介」「日野の風景」などを市民の目線で、また「推進会議」の紹介、公民館評価について、公民館が実施している講座のお知らせなど◆これからも皆様のお役に立ちたいと編集子一同努力いたしますので、これからもよろしくお願ひします。(H)

中央公民館：電話042-581-7580 ファクス042-581-2110
中央公民館高幡台分室：電話042-592-0864 ファクス042-594-1915
メール（中央・分室共通）は、pubhall@city.hino.lg.jp へ。
公民館のホームページは <http://kouminkan-city-hino-tokyo.jp/> です。